

国労東海本部

第44回拡大東海本部委員会開催



国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部
東京港区新橋5-15-5
交通ビル7階
発行責任者 植田 誠
編集責任者 村忠義
教宣部長

国労本
部の木
村忠義
に続く

植田委員長挨拶 (要旨)

第44回拡大東海委員会にご参集いただきました構成員、傍聴者の皆さん大変お疲れさまです。

去年は、能登半島地震、羽田空港衝突事故で始まり、特に、能登地方は大きな被害を受けてしまいました。一日も早い復興を願うところです。

現在、安全問題とローカル線を守る取り組みが大きな課題となっています。去年は多くの鉄道事故が発生しました。JR東日本では、1月に東北新幹線で架線事故が発生し、作業員が感電する事故。3月には山形新幹線が郡山駅で停止位置のオーバーラン。東北新幹線が時速315kmで走行中に列車分離する前代未聞の大事故が発生しました。貨物でも事故が多発しました、その事故の検証から、「輪軸」データ改ざん問題へと発展し、多くの鉄道事業者で「不適切な事案」があり、改ざんも確認されました。

JR東海内に目を向けますと、豊橋・三河安城間での保守用車衝突事故、高塚駅構内での関連会社社員触車死亡事故、東海道線新蒲原駅で旅客がホームから転落し貨物列車にはねられ死亡する事象が発生しています。労働組合として、安全にかかわる諸問題についてはチェック機能を発揮し、指摘するだけでなく議論をして改めさせ、労働災害・事故防止対策を強化し、「誰もが安心・安全に利用でき、働き続けられる職場づくり」を目指さなければなりません。

ローカル線問題では国鉄労働会館主催で「地域公共交通を考える」と題し、西日本の大北書記長から、ローカル線問題についての西日本の現状・取り組みの報告を受けてきました。25春闘は2月13日、JR7社に対し一斉に申し入れを行いスタートします。例年通り、JR 東海・ジェイアール東海バスでは新賃金と夏季手当の同時交渉となります。JR貨物については新賃金のみですが、全貨協が中心となつての取組みとなりますが、東海本部としてはJR貨物東海支社へ2月19日に申し入れを予定しています。

これから迎える2025年春闘の闘いから、組織拡大の取り組みを中心に、全力を挙げる決意を申し上げて東海本部執行委員会を代表してのご挨拶といたします。

国労東海本部は2月7日、静岡国労会館会議室で第44回東海本部拡大委員会を開催しました。委員をはじめ執行部等総計26人が参加し、25春闘の当面する方針案を討議して統一要求額を含む諸要求21項目を決定。春闘勝利、組織拡大に全力を上げることを確認し、最後に植田委員長の団結がんばろうで終了しました。

委員会の冒頭、木村智之副委員長の開会あいさつの後、池田執行委員の資格審査・委員会成立宣言の後、議長に静岡地本の西山委員を選出し議事に入りました。

副委員長から来賓あいさつを受けた後、高木業務部長から協定の締結承認、渡邊書記長から経過報告と当面する闘争方針案が提起され、討論に入りました。(討論の要旨を2面に掲載)



がん保険にできることを、もっと。

No.1 アフラックががん保険・医療保険に有利な内容

NEW 「生きる」を創る **がん保険 WINGS**

1 幅広い保障で 経済的負担をサポート
治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 付帯サービス<アフラックのよりそうがん相談サポート<※1>> (2023年1月23日サービス提供開始予定)
アフラックのよりそうがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート
「がんかもかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(※1)アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の優先先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。
サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.afiac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html)をご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています) **アベニール株式会社**
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

〈引受保険会社〉 **アフラック**
「生きる」を創る。アフラック 東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

書記長集約

☆25春闘



現在JR東海を取り巻く環境はインバウンドの好調もあり、営業収益は回復してきています。先般発表になりました第3四半期決算では前年比で増収となり平成30年度も上回り通期予想も上方修正しています。この間ベアは勝ち取ることはできたものの我々の要求額にはほど遠いものであり、物価上昇の中、実質賃金は下がり続ける状況であります。統一要求額17,000円を含む諸要求21項目を2月13日に提出することを提起し、東海本部としてもベアの満額回答はもちろんのこと、それ以上の金額を勝ち取る覚悟で今春闘を闘っていく考えです。併せて、2月13日の要求提出以降各職場・地方本部・分会・班では全組合員がつながることを意識した運動を作っていたいただき、労働組合の必要性を訴え共感してもらい職場三大要求やダイヤ改正、労働条件改善の運動と組織拡大の取組を今一度意識し東海本部全体で25春闘の闘いを作る必要があると考えます。

さらに、3月10日の東海貨物協静岡総合鉄道部前の取り組みなど、東海本部内での春闘統一行動に全組合員が参加できるように体制を整えて闘っていきましょう。

☆安全・公共交通を守る闘い

次に、安全・公共交通を守る闘いであります。昨年は全国的に多くの事故や安全を脅かす事象が発生しました。JR東海では7月の新幹線における保守用車衝突脱線事故、12月の東海道線高塚駅での関連会社社員の触車死亡がありました。我々は、利用者の安全はもちろんのこと鉄道業で働く我々の安全を守るために何が必要であるか再度考え、鉄道を安心・安全に利用していく取り組みを今まで以上に強化する必要があります。

☆組織強化・拡大

国労の喫緊の課題として取り組んでいる組織強化拡大については昨年名古屋地方本部で1名の拡大を勝ち取りました。あらためて感謝を申し上げ引き続き組織全体で、25春闘勝利！組織強化・拡大に向け奮闘しましょう！（要旨、抜粋）

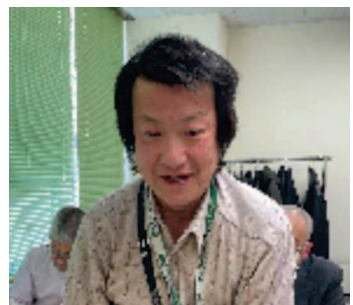
お年玉パズル当選者

新年号（第472号）の「お年玉パズル」の正解は「ベイスターズ」でした。応募者・正解者15人の中から第44回東海本部委員会で抽選の結果、以下の5人が当選しました。おめでとうございます！

（順不同、敬称略）

- 神田 茂樹 御殿場駅
- 細井 明彦 東京駅分会
- 渡辺 信康 東京駅分会
- 竹井 陽一 東京駅分会
- 小川 敏広 静岡総合鉄道部

委員の発言（要旨・抜粋）



*遺失物の取り扱いが大変厳しくなり非常に細かいものまで遺失物で上がって来ている。支社へ対応を要求している。

*専任社員は体力等が減少してきており若手と同等の義務は厳しい。

*保存休暇は退職時に最大の20保有していても全部使えない。保存休暇は年休を申し込んで取れなかった結果なのだからすべての保存休暇を消化できるようにして欲しい。

*大阪地区分会として春闘行動は職能別交流会を企画していく、今回は名古屋にも声をかけ交流をはかしていきたい。交流会の中では25春闘の根拠、職場実態、ローカル線問題などについて勉強をしていく。ローカル線問題については、ローカル線問題に取り組んでいる、西日本の米子地本から講師を招いて勉強をする。育児休業取得者増加は系統によってその影響が違うが取得が増えていることは間違いない。対応について要求し、会社に想定をさせることをお願いしたい。

*春闘アンケートについては独自にフリー記入欄を追加して配布を行っておりその部分もくみ上げて要求集約を行って

いきたい。乗務員休日労働が当たり前で非常に厳しい。ポイント清掃問題でセントラルメンテと交渉し改善を求めている。

